

## 第十七回 総会・懇親会開催

東京浦川原会 会長 小菅俊信

この度の平成の大合併により新生上越市浦川原区となりました。浦川原区は東頸城郡の東の玄関口として栄え、古くは唯一の交通手段であった、「軽便」頸城鉄道が黒井く浦川原までを結び地域の生活や経済を躍進し発展させてきた歴史がありましたが、自動車の普及により三十年前に永い歴史に終止符をうち廃業した。

東京浦川原会は会員三五〇名により構成され、会の目的である「会員相互の親睦融和」を基本に、定時総会、歴史（文学）散歩、ゴルフコンペ、ふるさと訪問旅行、うらがわら・柴又交流フェアー等を行い会員相互の親睦と、地元への架け橋として活動している。

三月十八日（日）上野精養軒に於いて標題の第十七回定時総会が盛會理に開催された。

上越市に合併後もふる里の思いを気軽に

☆定時総会・懇親会 三月十八日（日）  
於 上野 精養軒  
☆歴史（文学）散歩 五月二十日（日）  
江戸、明治、大正、の情感が漂う堀割川の町新川を歩く

☆ゴルフコンペ 五月二十二日  
於 都賀カンツリ倶楽部

☆ふるさと訪問旅行 七月二十二日（日）  
く二十三日（月）一泊二日

・高田はす見学・上越市内名所旧跡巡り  
・浦川原区総合事務所表敬訪問  
・浦川原コンプラオープン記念イベントに参加（ハーマニ力演奏会）  
・宿泊体験施設「月影の郷」にて田舎体験（笹だんご作り）

・地元との交流懇親会を開催  
於 月影の郷

☆うらがわら・柴又交流フェアー参加  
十一月十八日（日）於 柴又帝釈天内交流イベント・郷土物産品即売会開催

第二部懇親会では特別企画でハーマニ力の達人河本明先生が乾杯の前にハーマニ力演奏をされ拍手喝采であった。

〔演奏曲目〕

・荒城の月（滝 廉太郎）  
・禁じられた遊び（イタリヤ民謡）

・船頭小唄（中山 晋平）  
・トルコ行進曲、（モーツァルト）  
・悲しい酒（古賀 正雄）  
・母さんの歌（窪田 聡）  
・千の風になつて（新井 満）

演奏終了後乾杯し、宴席に入った。ふる里の酒を酌み交わし、一年振りの再会に心からの笑顔と笑顔、酒の回った処でカラオケ大会、福引き抽選会と続き景品には全員にふる里の物産品が用意された。

〔ふる里物産品〕

「自然芋そば・いなか餅・文左右衛門漬・大杉みそ・酒越の白鳥・アリランキムチ・大杉ようかん・くびき米」等

十五時万歳三唱の後、河本明先生のハーマニ力演奏による、「千の風になつて」と「ふるさと」を合唱し会も最高潮に達した、来年も全員がこの会場で会いましょうと閉会の挨拶でお開きとなった。

〔平成十九年度行事予定〕



挨拶小菅会長



ハーモニカ奏者河本明先生



東京浦川原会定時総会



「浦川原区法定寺」より（新井栄子さん提供）



カラオケ大会